



社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会

Vol. **70**
2026.9

市社協

ふじさわ



ことりの
おうち



地域を支える3つの団体をご紹介します

特集 社会福祉法人

神奈川県共同募金会・
藤沢市支会 2・3



キッズ
四ツ辻



ゆめちゃん
食堂

- ◆企業の地域貢献活動紹介
ファミリーマート..... 4
- ◆イベント・募集情報..... 5
- ◆令和7年度 事業報告 & 決算報告 6・7
- ◆ふじさわ福祉情報サイト「ちいふく」、
寄付・賛助会員 8

〒251-0054 藤沢市朝日町1-1 藤沢市役所分庁舎1階
電話 0466(50)3525 FAX 0466(26)6978

E-mail: syakyo1@cityfujisawa.ne.jp
<https://www.fujisawa-shakyo.jp/>



社会福祉法人 神奈川県共同募金会・藤沢市支会

令和8年度
共同募金PR大使
レッサーパンダの
いちごです!



共同募金の歴史

1947年、戦後間もなく施行された「日本国憲法」で、公の支配に属さない慈善・博愛などの事業に対して公費の支出が制限(第89条)されるようになり、当時、全国で12万人を超える戦災孤児の衣食住を支援してきた児童養護施設を中心に、経営が困難となった民間社会福祉施設の運営支援を第一目的に「第1回共同募金運動」が開始されました。

その後、日本の社会福祉事業の根幹となる「社会福祉事業法」(1951年施行／現在「社会福祉法」)が制定され、共同募金はその時々の社会情勢に応じて配分の重点が変化するようになり、近年は子ども食堂や物価高騰による経済的困窮者への食支援、国内で多発・激甚化する災害被災者支援にも重点的に配分をおこなっています。

2026年、「共同募金運動」は、80回目の節目を迎えます。草創期から皆さまの善意によって継承されてきた“たすけあいの文化”を、未来につないでいくために、今年も10月から運動を展開していきます。



第1回共同募金運動啓発ポスター

使い道

市町村ごとに寄せられた募金の7割は、それぞれの地域で実施されているさまざまな福祉活動に還元され、藤沢市内では子ども食堂の運営や児童の見守り活動、経済的困窮者への見舞金支給事業や地区社会福祉協議会への活動助成など、市民が主体となった活動の貴重な財源となっています。

また、募金の3割は、児童養護施設や障がい者支援施設の福祉車両の整備をはじめ、神奈川県全域を視野に入れた児童虐待防止活動や難病の子どもたちへの病院内学習支援活動、若年性認知症本人と

共同募金の意義、目的

共同募金は、都道府県ごとに地域福祉を推進していくための“極めて地域性の高い募金活動”で、神奈川県内でお預かりした寄付金は、国内で発生した災害時の被災者支援活動を除き、すべて県内の福祉活動に配分していくことが「社会福祉法」により定められています。

さらに、募金活動を通じて、県域・市町村域で展開されているさまざまな福祉活動へ、資金支援というかたちで参加・協力してくださる方々の輪を広げ、寄付金に託された想いを支援が必要な方々へつないでいくことにより“おたがいさまのまち”を創造していくことを目的としています。

住み慣れた町でいつまでも安心して暮らしていきたい…そんな願いのもとに“じぶんの町を良くするしくみ”を全国テーマに掲げ、一人ひとりが地域福祉に参加できる運動が共同募金です。



家族支援活動や犯罪等被害者支援活動など、誰もが安心して暮らしていけるようにたくさんの福祉活動に活用されています。

なお、国内で大規模災害が発生した場合は、全国の共同募金会が連携して、被災地で展開される災害ボランティア活動を、資金面で支えています。

共同募金の具体的な使い道は、共同募金データベース“はねっと”で公開しています。



はねっとHP

よくある質問と回答

Q 募金なのにどうして目標額があるの?

神奈川県内の地域福祉を推進していくために、社会福祉施設や団体が各地域で実施する活動の資金量をあらかじめ把握して、計画的に募金をおこなうことが「社会福祉法」で定められています。皆さまの地域のさまざまな福祉活動を資金面で支えていくために、ご理解とご協力をお願いします。

Q 共同募金の寄付金に税制優遇はあるの?

共同募金は、極めて公益性が高い寄付金として、財務省、総務省告示によって、法人税や個人所得税(所得控除または税額控除)の税制優遇の対象となっています。



藤沢市での募金活動

募金の種類

戸別募金:自治会・町内会の皆さまのご協力による募金

街頭募金:藤沢駅、六会駅、長後駅、辻堂駅等のご協力をいただき、通行する皆さまのご協力による募金

法人募金:市内の企業・法人などのご協力による募金

学校募金:幼稚園、小・中学校、高等学校、専門学校などに在籍する児童、生徒、学生のご協力による募金

職域募金:市内の企業・法人などで働く方々のご協力による募金

イベント募金:湘南ベルマーレ、江ノ電&湘南モノレールコラボ募金などのイベントでのご協力による募金

その他の募金:個人や団体など、他の区分に当てはまらない募金

募金の時期

赤い羽根共同募金:10月1日～3月31日

年末たすけあい募金:12月1日～12月31日

藤沢市でお寄せいただいた募金の活用先

赤い羽根共同募金

- 市内の福祉施設、市内の在宅福祉サービス、
- 市内の子ども食堂 ●県内の福祉活動
- 市社協事業の一部 (地区社協への助成、地域活動への助成など)

年末たすけあい募金

- 生活困窮者等への援護事業や学童援護事業など

ありがとうメッセージ

ゆめちゃん食堂

あたたかいご支援に心より感謝申し上げます。

ゆめちゃん食堂は、2017年にPTAやこども会などで知り合った仲間と立ち上げた子ども食堂です。天嶽院の場所をお借りして月1回(第4土曜日)に開催しています。毎月約120名(子ども80名、親40名)の親子と25名の地域のボランティアさんが参加してくれています。

ゆめちゃん食堂は子どもだけでなく、子育てを頑張っている親たちも応援します。また、昔あそび、イベントを通して地域の大人とふれあう場ともなっています。

会場は寺院内の広場で、レジャーシートを敷いてみんなで一緒にわいわいがやがや食事をします。2年前から始めた季節の野菜たっぷり、肉たっぷりの豚汁が好評で一年中提供することになりました。「野菜嫌いな子が豚汁の野菜は食べてくれます」「子育てが大変で野菜たくさんの食事は助かります」「安心して遊ばせられる場所です」などの声をいただいています。

「こどもは地域の宝」これからも地域の子どもの健やかな成長のために活動してまいります。皆さまのあたたかいご支援が私たちの活動の大きな励みになります。本当にありがとうございました。



キッズ四ツ辻

湘南台にある四ツ辻団地自治会では、2024年4月より「児童朝の登校見守り事業」(通称:キッズ四ツ辻)を四ツ辻団地コミュニティハウス(重田ハウス)にて始めました。

活動の発端は、共働きの自治会員が漏らした「来年から娘が小学校にあがるけど、通勤が登校時間より早い。どうしたら」との悩みから、プロジェクトをスタート。当初はさまざまな課題がありましたが、学校関係者や市民センターなどとの協議を重ね、地域住民の協力をいただくこと、また、赤い羽根共同募金からの助成金を活用することで、小学生の登校までの朝の1時間の見守り活動を始めることができました。3年目を迎え、近隣自治会の方も利用できるようになり、にぎやかになってきました。

活動日数が増えていることもあり、一緒に見守りボランティアをしていただける方を大募集中です!

「じぶんの町を良くするしくみ」を実感しています。本当にありがとうございました。



特定非営利活動法人 こりのうち

当法人は「私たちにできること」を理念に、鳥類中心の小動物の保護活動や、こども食堂やこどもの居場所などのこども支援活動、生活困窮者や他の活動団体への支援、食品ロス削減のためのフードバンク事業など、命に線引きをしない社会を目指して活動しています。

今回ご支援いただいた助成金は、こども食堂事業にて活用させていただきました。当法人が運営するこども食堂は、1カ月

あたり12～13回、藤沢市内6カ所の地域にて活動しています。

赤い羽根共同募金会さまを通じてご支援くださった方々はもちろんのこと、日々の活動を通じてさまざまな方からのご支援があるからこそ、ここまで活動を続け、広げられてきました。これからも、私たちにできることを考え、多くの命のために努めてまいりたいと思います。

この度はご支援いただき、誠にありがとうございました。



企業の地域貢献活動



ファミリーマート ファミマフードドライブ



フードドライブとは、ご家庭にある食べきれない食品を持ち寄り、地域の福祉団体等に寄付する活動です。ファミリーマートでは一部店舗に寄付受付BOXを設置し、「ファミマフードドライブ」として取り組みへ協力しています。藤沢では、藤沢市社会福祉協議会が市内のファミリーマートに寄せられた食品を回収し、(一社)フードバンクふじさわ※を通して、ひとり親世帯などへ配分、活用しています。今回は、フードドライブ事業に協力している市内のファミリーマートを取材しました。

※寄付いただいた食品を集約し、ひとり親世帯、市内子ども食堂などへ配布している。



フードバンクふじさわ

ファミリーマートでは、地域の交流の場としてイートインスペースを活用したこども食堂を展開していましたが、コロナの影響で縮小傾向にありました。そんな中、単純な売上につながることでないかと考え、2021年4月からフードドライブ事業をスタートしました。

現在全国では協力店舗が5,000を超え、藤沢市内でも昨年比で協力店舗が3店舗から8店舗に増えるなど、徐々に拡大していています。



ファミマ
フードドライブ



ファミリーマート
神奈川リージョン SVアドバイザー
野原さん

市内協力店舗



藤沢石川二丁目店



店舗スタッフさんからのコメント

寄付受付BOXを設置したことで常連さんからの反応もありましたし、それにつられて中を覗いていかれるお客さまもいらっしやり、そういったことが積み重なって徐々に認知されていった印象です。

ぎっしりと寄付品が入っていることもあり、人のあたたかみを感じています。寄付いただいた食品が、必要な誰かのもとに、一つでも多く届いてくれば嬉しく思います。

コンビニエンスストアは身近な存在であり、社会のインフラを支える役割を担っています。1店舗1店舗ができることは小さいかもしれませんが、それらが集まると大きな力を発揮します。フードドライブだけでなく、「誰でも立ち寄れる場所」であるからこそ、買い物だけでなく誰もが安心して利用できるような、地域に根差した取り組みを進めていきたいと考えています。

イベント

募集情報



参加・申し込み
お待ちしております!



市社協HP

老人福祉センターのイベント

参加
無料

こぶし荘

やすらぎ荘

湘南なぎさ荘

9月21日(月・祝) 敬老の日のつどい 3センター共通 9月21日(月・祝)は「浴室無料開放デー」

健康・体力測定会
(藤沢湘南台病院)

時間 9時30分～12時30分

交通安全教室(藤沢北警察署)

時間 9時50分～10時50分

小桜舞子 歌謡ショー

時間 13時50分～14時50分



増田いずみオペラコンサート
&カラオケ大会

時間 10時45分～14時



小桜舞子 歌謡ショー

時間 10時30分～11時30分

なぎさ演芸会

時間 13時～14時30分



10月3日(土)・4日(日)

第51回 やすらぎ祭

時間 9時30分～14時30分



11月14日(土)・15日(日)

第32回 湘南なぎさ祭

時間 9時30分～15時30分
(15日は14時30分まで)



〒252-0807 藤沢市下土棚 800-1
電話:45-3121 FAX:45-3126



〒251-0862 藤沢市稲荷 586
電話:81-6068 FAX:83-4624



〒251-0037 藤沢市鵠沼海岸 6-17-7
電話:36-2315 FAX:36-1171



第9回湘南ふじさわ 子育て応援メッセ

参加
無料

藤沢市内で子育てしている方に向けた子育て応援イベント。

日時 10月3日(土) 10時～13時

場所 藤沢市役所分庁舎1階・2階

主催 「湘南ふじさわ子育て応援メッセ」
実行委員会

問合せ 藤沢市社会福祉協議会
「湘南ふじさわ子育て応援メッセ」事務局
電話:0466-26-9863



FUJISAWAボラ活フェスタ

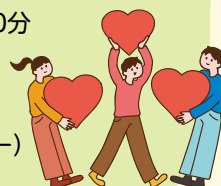
参加
無料

あなたの「やってみたい」がここからはじまる!ボラン
ティア活動の魅力を「見る、知る、体験する」イベント。
ボランティア活動の紹介展示や特技・芸能ボランティ
アのミニステージ、プチボラ体験など。

日時 11月7日(土) 10時～14時30分

場所 藤沢市役所分庁舎1階・2階

問合せ 地域福祉活動センター
(ふじさわボランティアセンター)
電話:0466-26-9863



もっと知ってほしい 里親制度

参加
無料

『里親』とその制度について知っていただくための講座。

日時 11月28日(土) 10時～12時

場所 茅ヶ崎市役所本庁舎4階 会議室1・2・3

申込み 11月20日(金)までにお電話で

問合せ 神奈川県中央児童相談所
電話:0466-84-1600



令和8年度 第58回 藤沢市社会福祉大会

参加
無料

表彰式典、防災をテーマにした講演会。

基調講演「助かった命、その先へつなぐ 災害関連死を防ぐ地域の力」(仮)
日本社会事業大学大学院 准教授 北川 進氏

日時 11月20日(金) 13時30分～

場所 藤沢市役所分庁舎 地域福祉プラザ2階

問合せ 詳細は適時、市社協ホームページに掲載
します。ご来場お待ちしております。



参加
無料

藤沢ふれあいフェスタ 2026

障がいのある人もない人も、誰もが楽しむ
ことができるバリアフリーなお祭り。

日時 12月5日(土) 11時～15時

場所 藤沢市役所分庁舎1階・2階、本庁舎1階

主催 藤沢市、藤沢市ふれあい実行委員会、(社)藤沢市社会福祉協議会

問合せ 藤沢市障がい者支援課

電話:0466-50-3528 FAX:0466-25-7822

地域福祉活動センター(ふじさわボランティアセンター)

電話:0466-26-9863 FAX:0466-50-3671



令和7年度 事業報告

「第4次地域福祉活動計画」の具体化に向けて、地域で暮らす住民の皆さん、さまざまな団体や行政などの皆さんと地域生活課題の解決に向けて取り組みを進めました。



◀詳細はこちら

① 第4次地域福祉活動計画の推進

活動計画の推進を検討する「藤沢市支えあう地域づくり推進連絡会」の事務局として、会の運営と取り組みを支援した。

同連絡会では、地域活動インセンティブ制度に関する課題検討をおこなうほか、次期活動計画の策定に向け、市の地域福祉計画改定スケジュールや市民向けアンケート等の情報の共有に努めた。

地域福祉活動を推進するための活動助成(通称: たーすけ あいちゃん助成)により、17の活動団体に対して活動及び助成の支援をおこなった。

② 地域福祉活動の推進に向けた支援体制の充実(一部新)

① 地域福祉の普及・啓発と人材づくり

地域福祉活動の普及啓発を図るため、1月18日(日)に市役所分庁舎1、2階の地域福祉プラザと市役所サンセット広場を会場に、「第57回社会福祉大会」と「地域福祉プラザハートフルデー」を同時開催した。



消防音楽隊によるオープニング演奏



保護司会のパネル展示

機関紙「市社協ふじさわ」では、福祉関係法の解説や一斉改選の年を迎える民生委員児童委員活動に関する特集のほか、市内企業が取り組む地域貢献活動の紹介記事を掲載し情報を発信した。



「市社協ふじさわ」第64号

介護人材育成として初任者研修では、令和7年度は通信コースに変更し、通学日数を21日から15日として6日(37時間)減らすことにより、より受講しやすい研修スケジュールとした。また、昨年度から新たに開始した同行援護従事者養成研修では、受講料が低額なこともあり、定員(10人)を大きく超える申し込みがあった。



小田急電鉄(株)・江ノ電バスの協力による実地研修のようす



② 生活支援の仕組みづくり

令和7年度から第1層生活支援コーディネーターは市地域福祉推進課が担い、市社協は13地区のCSWが第2層として活動を継続し、地域の活動や会議を通じて得た地域情報を毎月整理し、第1層と共有して連携を図った。

③ 包括的な相談支援体制の構築

① 重層的支援体制整備事業への取り組み

制度では対応が難しい課題は、インフォーマルサービスの協力も得て課題解決を図った。特に課題が複合化し支援が難航している場合には、「重層的支援会議」等を活用し課題の把握や、役割分担、支援の方向性の整理などをおこなった。

② 特例貸付借受人へのフォローアップ支援

日中に来所や相談ができない方を対象に、時間外窓口を6月から月2回実施するほか、神奈川県社協が実施する、償還に係る通知に対し未応答の方への個別訪問調査に同行するなど、アウトリーチ支援等に取り組んだ。

④ ひきこもりや生活困窮者等の地域で孤立しがちな方への支援

① ひきこもり等社会参加事業の推進

社会参加活動室や居場所事業「こころま」で利用者アンケートをおこない、意向を事業に反映した。相談員を配置した「こころまプラス」や、個別ニーズをテーマに集まる「まったり会」を実施した。

② 社会的孤立等生活支援事業の推進

ひとり親等の生活困窮世帯や、ひきこもり、児童養護施設入所者等に対し、自動車運転免許の取得支援や七五三お祝い事業等を実施した。

⑤ 地域福祉活動センターの運営

福祉課題の解決に取り組む福祉活動団体等(登録団体84団体)に活動室の提供をおこなう等支援した。

月1回発行の「ふじさわボランティアセンターニュース」でも、地域の魅力あふれる活動の紹介と併せその活動のボランティア募集情報を掲載し、地域福祉活動への参加促進を図った。

⑥ 地域福祉物流・交流拠点の運営

障がい者の就労を通じた社会参加の場として、支援員と障がい者スタッフを配置し、フードバンクかながわからの毎月の冷凍食品の提供をはじめとする、増加する寄付品を安定的に取り扱える体制整備を進めた。

【令和7年度 寄付受け入れの実績】

寄 付 先	受領数量	合 計
市民(各市民センター)	2,255kg	35,961kg
ファミリーマート	199kg	
その他(農家・市備蓄品・企業等)	27,053kg	
冷凍食品会社	6,454kg	

③ 関係機関や民間企業等との連携

① 社会福祉法人による地域の公益的な取り組みの推進

地域の公益的な取り組みの推進を目的に、市内42の社会福祉法人が分野を超えて連携・協働していくための協議体、「藤沢市地域公益事業推進法人協議会」の参加法人兼事務局として会の活動支援に取り組んだ。「福祉なんでも相談窓口」事業では、担当者のスキルアップ研修を開催し合計、延べ50法人81人の参加となった。

② 民間機関や民間企業等との連携

JAさがみわいわい市藤沢店の協力により、地域の農家から寄付された野菜等の食材を、フードバンクふじさわや市内の子ども食堂地域食堂に提供する農福連携事業は、今年度10年目を迎え、増加する子ども食堂等への提供の仕組みの再検討をおこない、来年度につなげた。

また、アズビル山武財団・藤沢市・市社協の三者協定に基づき、経済的支援が必要なひとり親世帯の生徒の中学・高校入学時に支援金を支給する「あすなろフレンドシップ就学支援制度」は、令和7年度9年目を迎え、3年ごとの協定期間の満了を迎える中、協定更新により10年目以降の制度継続をおこなうこととなった。

③ 地区社会福祉協議会等との連携

協議会議を年2回開催し、交流会や勉強会のテーマについて協議がおこなわれ、市民センターと公民館の一体化、活動インセンティブや若者の関心を引く仕組みづくり、自治会加入率の低下や活動の担い手の確保等の課題を共有し、交流会でのテーマへとつなげた。

交流会は南・中・北の3つのエリアに分けて開催し、エリアごとの地区社協間の連携・強化を図る機会となった。

④ 権利擁護の推進

① 成年後見制度等の相談機会及び利用支援機能の充実

専門職による相談機会の拡充として、通常の平日開催に加え、土曜日に出張専門相談を3回実施し、老人福祉センターこぶし荘や障がい者地域相談センターつむぎを会場とすることで、平日の利用が難しい市民への相談機会の確保と、地域関係機関との連携強化を図った。

② 権利擁護支援に係る中核機関の運営

中核機関としての機能強化を図るため、「藤沢市権利擁護ネットワーク連絡会」及び「中核機関運営会議」をそれぞれ3回開催し、地域における権利擁護支援の在り方について協議をおこなった。

また、成年後見制度の普及啓発を目的とした市民講座については2回実施し、いずれも定員を上回る参加があった。



市民講座(おひとり様終活準備講座)の様子

⑤ 在宅福祉事業等への取り組み

① 共生社会に向けた生活支援の実施

「ひとり親家庭等日常生活支援事業(市委託)」や、「子育て世帯訪問支援事業(市委託)」を実施し、親の心身の負担軽減や子どもと接し、向き合う時間の提供につなげた。

また、高齢、障がい等の制度の対象とならない方や、社会的孤立や生活課題を抱



ヘルパー支援の様子

える方への一時的な生活支援をおこなう「共生型ホームヘルプサービス事業(市委託)」は、障がい相談支援事業所や医療機関、市関係等と連携しながら、家事や入浴介助等を提供した。

② 制度事業への取り組み

市内の障がい福祉サービス提供の一助となるよう、障がい者居宅介護等事業や相談事業を実施。相談支援事業では親の高齢化、死亡による後見人制度へつなげる取り組みを市地域福祉推進課やふじさわあんしんセンターと協力しながら令和7年度は2件実施した。

⑥ いきいきシニアセンター(藤沢市老人福祉センター)の運営

地域福祉推進の拠点となるいきいきシニアセンター(藤沢市老人福祉センター)の指定管理第3年度として、老人福祉センターの機能を維持しながら、SNSや動画配信等活用した情報発信と、施設利用の利便性の向上に取り組み、利用者ニーズに即した多様な主催事業を実施した。特に需要が高い健康に関する事業を開催し、自主事業として介護予防事業の実施に取り組んだ。

① 利用の状況

① 3センターの利用状況(延べ利用者数)

ア. やすらぎ荘	41,670人(令和6年度:38,852人)
イ. 湘南なぎさ荘	44,882人(令和6年度:44,596人)
ウ. こぶし荘	72,492人(令和6年度:71,512人)

⑦ 災害対応に向けた取り組みの推進

8月30日の市総合防災訓練において災害救援ボランティアセンター設置・運営訓練の中で災害ICT支援アプリ(Kintone)を使い、被災者ニーズの受付からボランティア派遣票作成までの一連の行程訓練に取り組んだ。



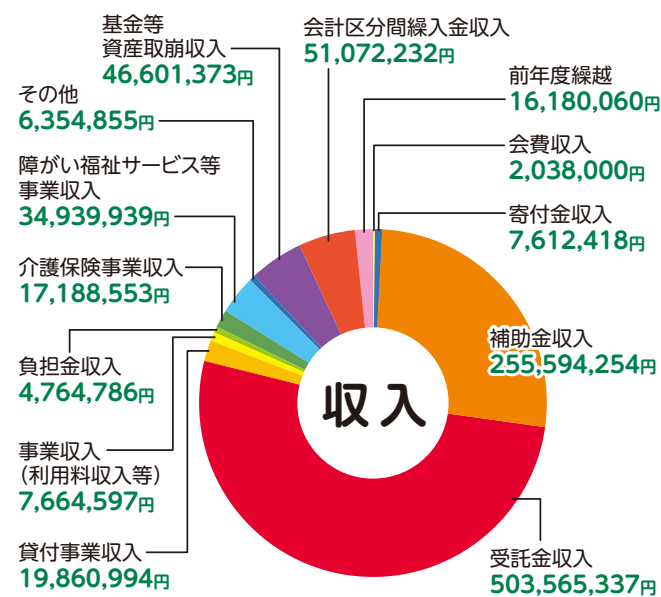
被災者ニーズ相談



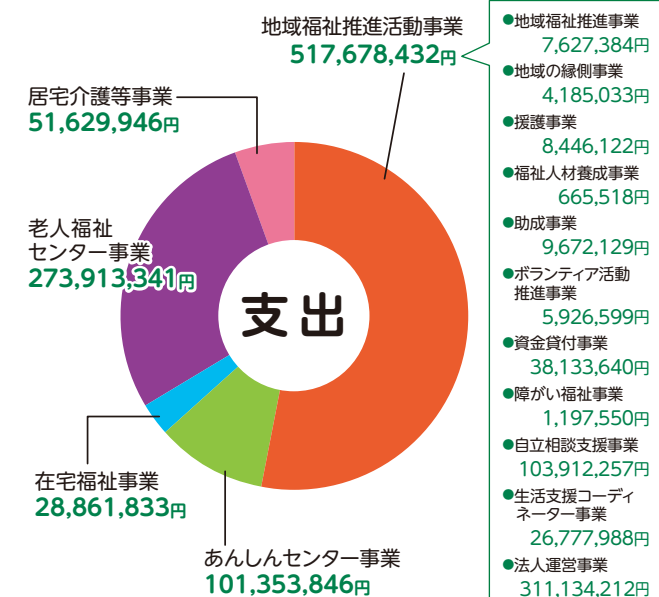
災害支援アプリによる情報入力

令和7年度 決算報告

収入合計 973,437,398 円



支出合計 973,437,398 円



福祉情報サイトが
新しくなりました!



ちいふく

ふじさわ福祉情報サイト

＼ちいきの・ちいさな・ふくしの情報が見つかる!／

アクセスはこちら



<https://fujisawafukushi.navi-sma.jp/>

ふじさわ福祉情報サイト「ちいふく」は、市内の福祉にかかわる地域活動・地域団体や相談できるところ、ボランティア募集情報やイベント情報を掲載しています。

藤沢で暮らす皆さんの「**地域で自分らしく安心して暮らしたい・つながりたい・活動したい**」を応援するサイトです。社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会が運営しています。「ちいふく」で地域のさまざまな情報を探してみてください!



地域福祉の情報を掲載

情報の例

- ☒ 福祉に関わる地域団体・地域活動
- ☒ 相談できるところ
- ☒ ボランティア募集
- ☒ イベント情報



イベントカレンダー

できること

- ☐ 今日のイベントが見つかる
- ☐ イベントがある日がわかる



福祉に関するお知らせ

こんなお知らせが配信

- ☒ 福祉に関する情報提供
- ☒ 社協からの案内



より良いサイトを目指しています。ご利用(アクセス)のご感想などもお寄せください。

地域に根ざした福祉活動をしている団体で、「ちいふく」で情報発信したいというご希望がありましたら、地域福祉活動センターまでお問い合わせください!

電話:0466-26-9863



いつもご支援いただきありがとうございます

令和8年 4月1日▶7月31日

あたたかいご寄付を ありがとうございました

社会福祉のために

- ▶ 戸大建設工業株式会社
- ▶ 株式会社 ティアーズ
- ▶ 合同会社コンコルディア
- ▶ 南橘町内会 ▶ 小菅 孝
- ▶ 匿名 1名

寄託品

- ▶ ウェスタンデジタルジャパン…防災備蓄品
- ▶ 匿名 2名…大人用おむつ 他

(順不同・敬称略)

令和8年 4月1日▶7月31日

賛助会員の紹介

亀谷 みゆき

菅原 智栄子

鈴木 公子

平澤 孝

藤沢湘南台病院

ライフタウン

調剤薬局

おれんじリング湘南

神奈川聴覚障害者

総合福祉協会

東幸

トータルリスタートサービス協会

日本精工 福祉基金

増井行政書士事務所

養護老人ホーム湘風園

樹ケアサポート

移動サービスW.Co

らら・むーぶ藤沢

シニアライフセラピー研究所

福祉クラブ生協オブティ茜

藤沢家事介護W.Coえんじょい

藤沢子育て支援W.Co

ほっと・すぺーす

藤沢市市民後見人 ふたば会

藤沢食事サービスW.Co

クックふじさわ

藤沢生活支援W.Coひなた

フリースペースサービス

laule'a

(順不同・敬称略)

市社協 賛助会員 募集中

申込
方法

本協議会でお申込みいただくか、挟み込みのゆうちょ銀行「払込取扱票」をご利用ください。

受付
窓口

平日
土日祝

8:30~17:15 — 1階「総務課」

17:15~20:00

9:00~17:00 — 2階「ふじさわボランティアセンター」
(第3日曜を除く)

ゆうちょ銀行窓口での払込

払込手数料は本協議会が負担いたします。